

会議録（要点筆記）

会 議 名	令和８年度 第２回米原市社会教育委員会会議
開 催 日 時	令和８年８月６日（木）午後７時００分から午後８時２０分まで
開 催 場 所	米原市民交流プラザ（ルッチプラザ） ２階研修室
出席者および 欠席者	出席者：大谷委員長、福永副委員長、岩崎委員、川崎委員、澤村委員、 清水委員、南家委員、馬淵委員、村瀬委員、和氣委員 事務局：生涯学習課 平山課長、佐橋主事 欠席者：河居委員、庄委員
協 議 事 項 等	・ 協議テーマ「米原市の子ども未来」の今後の取組について
結 論 (決定した方針等)	・ ９月２６日開催のこほくキッズミュージアムに参加し、着想を得る。 ・ 市内で社会教育事業を行うに当たって「いつ」、「誰のために」、「何のために」等、目的や実施内容を次回の会議で共有していく。
協議経過・概要	１ 開 会 ※半数以上の委員が出席のため、本会議の成立を報告 (12人中10人) ２ 課長あいさつ ３ 滋賀県社会教育委員連絡協議会関係 報告 ○ ７月１４日開催 令和８年度滋賀県社会教育委員連絡協議会第１回理事会について ○ ８月５日開催 令和８年度滋賀県社会教育委員連絡協議会研修会について ４ 視察の振り返り ７月１７日に視察訪問した立入が丘小学校のほうかごたいけん教室について ５ 令和８年度下半期の取組について（意見交換） 委員長 ほうかごたいけん教室の事例を踏まえて、米原市でも子どもを対象とした社会教育事業を実施したい。社会教育委員が先駆けとなって行動すべきであると考えている。立入が丘小学校のほうかごたいけん教室のように学校の空き教室を借りて実施するとなると部屋の確保が困難であることや、学校を会場とすると学校や先生方への負担になりかねないことなど、さまざまな問題がある。 委員 立入が丘小学校のほうかごたいけん教室の視察で、先生方への

		負担を最小限にする努力に感心した。近年の教員は教科の勉強のみならず、多岐にわたる仕事があるため、負担をかけることは避けたい。
	委員長	ほうかごたいけん教室は3つの教室に分かれていたが、2つ程度が現実的ではないかと思っている。また、場所は学校の負担がかからない学びあいステーションはどうか。
	委員	学びあいステーションは施設利用料金が必要になる。また、米原学びあいステーションは学童を行っていないため、子どもの集客は厳しいと考えられる。
	委員	近江学びあいステーションではお家笑里クラブという学童がある。先日、委員長に腹話術を行っていただいたが、子どもたちは真剣に見聞きし、楽しんでいた。
	委員長	まずはモデル事業として、近江学びあいステーションでイベントを行うことを目標に進めていくのはどうか。周知の方法や参加人数、予算などを詳細な計画を立てる必要がある。
	副委員長	ここで取り組もうとしているのは何か、子どもの体験イベントをするのか、子どもの体験格差を無くすのかなど、「誰のために」、「何のために」、「何をするか」ということや講師についてまとめておく必要があると思う。
	委員	子どもたちは何に対しても興味を持ってくれていると思うので、試行的に何か行うことも良いと思う。
	委員	学びあいステーション4館のうち1つの場所を選んだ場合、1つの館に米原市全体の子どもが参加することは厳しいのではないかな。それぞれの地域で仕組みづくりをするべきであると思う。
	委員	テーマを明確にしてから行動すべきだと思う。また、イベントの対象として学童を挙げられたが、学童に通わない子どもたちが対象外となってしまう。
	委員	教室ではなく、理科室や図工室等であれば学校側も比較的部屋を貸しやすいと思う。
	【まとめ】	
	委員長	9月26日に開催するこほくキッズミュージアムから着想を得て、社会教育委員として「誰のために」、「何のために」、「何をするか」を次回会議で明確にする。
		以上

会議の公開・非公	☒ 開示 ☐ 一部開示（根拠法令等：
----------	---

開の別	☐ 非開示（根拠法令等： ）
全部記録の有無	会議の全部記録 ☐ 有 ☒ 無 録音テープ記録 ☒ 有 ☐ 無
担 当 課	生涯学習課（電話 53-5154、内線 2144）